

つなぐ

夏号
2018 No.3

ご自由にお取りください



特集

郷土愛あふれる山下亀三郎の人生 亀三郎物語

インタビュー えひめ伝統工芸士 二代目 宇都宮よしを

つなぐ

2018 July
夏号

C o n t e n t s



四国カルスト 撮影 / 北濱一男

01 エッセイ「ふるさとの宝言」 渡辺文子

02 インタビュー「追いつける父の技」

えひめ伝統工芸士 二代目 宇都宮よしを

04 特集 郷土愛あふれる 山下亀三郎の人生 亀三郎物語

05 「海運王 山下亀三郎」 赤松嘉進

06 亀三郎が遺したモノ

08 「祖父亀三郎の生誕150年祭をゆかりの地で祝って」 山下眞一郎

10 「実現したい二つの夢」 山下重蔵

11 亀三郎を支えた友 秋山眞之 / 清家吉次郎

12 **ガイヤカーニバル** 30周年 ガイヤ誕生秘話

14 かくれた逸品 あげ巻

16 ふるさとの  **カタヂ** よっぱベーカリー

18 偉大なる野菜の力！ 広島修道大学 教授 藤井文子

19 お気楽俳句／おすすめの本／つなぐ美術館／ライブ情報

21 撮り歩きなんよ アマチュアカメラマン
北濱一男が撮りためた南予の風景



表紙 / 「夏めいてる」
作 / ありま三なこ

プロフィール

1987年生まれ、愛媛県宇和島市出身。
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作でしかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす。
現在は個展やイベントへの出品等で活動中。



つなぐ 夏号 No.3

〒798-0041

宇和島市本町追手 2-8-21

0895-23-7000

年4回発行（季刊誌）

配布先 / 宇和島信用金庫各支店ほか

発行 / 宇和島信用金庫

本誌掲載内容の無断転載を禁じます。

少し前になるが、マツコデラックスの深夜番組で宇和島の方言が紹介されたらしい。「日本」ぶさいくな方言」というテーマで「ちんち」を取り上げていた。「新品」という意味だそうだが、私は（昭和35年生まれ）はじめて耳にした。我が愛するふるさとの方言を「ぶさいく」なんて失礼千万だが、お笑い番組なのでそこは横に置くとして、私はそのことよりも、その番組を観た宇和島出身者がインターネット上で「宇和島の方言はとても好きだ」と交し合っていたのが嬉しかった。

アクセントは地域によって様々だ。日本語のアクセントは、諸説あるが、大きく7タイプに分かれ、愛媛県は多くのアクセントタイプが複雑に入り交じる全国でも極めて珍しい県だ。その中でも宇和島のアクセントは、四国の中でも唯一「東京式アクセント」に分類されているのは興味深い。宇和島を離れて40年、確かに「訛り」で苦労したことはなかった。

しかし、方言が使えないもどかしさは幾たびもあった。「よもだをくるな」が「屁理屈をいうな」ではあっさりしすぎてつまらない。「おつとろしや」は「びつくり!」という感嘆詞だが、もっと柔らかな昔話の合の手のような温かさがあるし、

「ふるさとの宝言」 ほうげん

渡辺 文子



「おせうしゅうなつて」は目を細めるほどの愛情が溢れている。「めーぼ」が「ものもらい」では痛みと湿気が足りない。ちなみに8年間住んだ大阪では「メバチコ」と言う。これはかなり強烈だった（笑）

宇和島だけの方言だと思っても、他の地域で同じような使われ方をしているものもたくさんある。例えば「がいな」は「ひどい」「乱暴に」など悪い意味のみで使う地域もあるが、宇和島と同じように、「他より抜きんでた」「すごい」ことを表現する時に使う地域も多く、（語源は一説には、億、兆、京など、数の単位を表す「垓」からきているとも言われている）北は北海道から南は大分県までその範囲は広く全国区だ。

だけど、やはり思うのだ。私達が宇和島で使ってきた「がいな」は、使う場面、前後の言葉、間合いなどとともに、宇和島の歴史文化そして人々の生活の中言い継がれてきた。そこには、私たちにしか共感できない感動や、想いや、文化がある。放課後の運動場、兄弟喧嘩、駄菓子屋のおばちゃん、和霊さまのお祭り。ああ、懐かしい。方言は、幼いころの体験を宇和島の情景や懐かしい人とともに思い出させる魔法の言葉だ。

いまや、面白いこと、美味しいもの、びつくりしたこと、感動したことなどのすべての形容が、「ヤバイ」の一言で表現される世の中だ。言葉がだんだん貧しくなっていく。方言の衰退はその土地の文化がなくなっていくことに等しい。どうか、「がいやー」が「ヤバイ」に席卷されませんようにと願うばかりである。

さて、最後に恐縮ながら、ちよつとこの誌面をお借りして。我が家では昔から「あんぬ」という言葉を使っていた。お風呂で子どもの首を洗う時、「はい、あんぬして」というと、子どもはあごを上げて首を差し出す。いまでも私が大好きな方言（だと思っている）なのだが、しかし、知らない人が多い。これは宇和島の方言なのかどうか、ご存じの方がおられたら教えてください（笑）。



渡辺 文子

1960年 宇和島生まれ（旧姓 菊池）
1981年（株）リクルートに入社、マザーリング研究所などを経て、2004年より（株）編集工学研究所に勤務、現在に至る。年に数回は帰省し、必ずお城山に登る。

追い続ける父の技

えひめ伝統工芸士 二代目 宇都宮よしを

現在、県内唯一の張子牛鬼の製作者で、えひめ伝統工芸士の二代目宇都宮よしをさんにお話を伺った。

明治45年生まれのお父は優秀な旋盤工だったが、目を患い宇和町（現西予市）に泊り込みで療養に行っていた。その下宿先の隣りで老人が張子細工を作っているのを見ていたのがきっかけで、昭和22年頃から独学で紙張子の仕事を始めた。

手さぐりで始めた張子細工の道は簡単ではなかった。その頃の様子を「ベケ（失敗作）ばかりでなかなか売り物にならんかった」と話していた。当時、すでにおもちゃの素材はセルロイドや金属が主流で、張子はすでに全国的にも希少な存在だった。

作っていたのは、牛鬼、鹿、天狗、お多福、猿などのお面に指人形と多岐にわたる、私が小学校4年生頃には職人さんが5人もいて、私も学校から帰ると手伝いをさせられた。世は、作れば売れる高度経済期真っ只中。生活は決して豊かではなかったが、父の仕事は多忙で毎日夜中まで仕事をしていった。

早くに母を亡くし父一人、子一人だったこともあって、父は周りに「この仕事は大変やけん息子は公務員にでもならさんといけん」と漏らしていた。ところが、私が小学校の卒業文集に「将来は父ちゃんの仕事を手伝って牛鬼を作りたい」と書いたのを知った途端、「あいつに後を継が

さんといけん」と言って大喜びしたと言う。なので、中学校を卒業すると定時制高校に進み、昼は家業を手伝うと決めた。

晴れて高校に進み2週間ほど経ち、昼は家業の手伝い、夜は学校という生活にも幾分慣れたある日、突然父が倒れ寝たきりになってしまった。

子どもの頃から手伝っていたとは言え仕事は半人前、家計を支えるために家業、看病、学校とアルバイトの四つをこなした。

病室の父に自分で作った張子を見せて行くと、この時ばかりは師匠と弟子の関係だ。出来が悪いと叩かれ、時には唾を吐かれることもあった。これも、今思えば少しでも早く私を一人前にしようとする親心だったのだろうと思う。

そんな父も、私が高校を卒業したわずか2ヶ月後に他界してしまう。身内からは、これを機会に廃業して就職をすすめられたが、父がやり残した仕事を手放す気持ちにはなれなかった。とにかく、子どもの頃手伝ったわずかな経験と記憶をたよりに見えない父の背中を追い続けると決めた。

和紙張りは微妙で都度微調整が必要だ。塗りも、湿度や薄め液の微妙な調合で仕上がりが全く違った。しかし、技術の向上とは逆に志向の変化や景気の衰退などの影響で急激に「張子」を必要としない厳しい時代へ突入していく。

それでも「自分には張子しかない」と一心不乱に仕事をした結果、放送局から表彰を受けたり、[※]えひめ伝統工芸士にも認定され徐々に評価されるようになっていった。そして、2015年にはポップカルチャーの総合誌ブルータスにも紹介された。

しかし、雑誌の取材後に出品したあるコンテストでは酷評を受けてしまった。それを聞いた同誌の担当者は「心配いりません。あなたの作品は素晴らしいですから自信を持って下さい」と言われて随分と気が楽になった。その後、その言葉を証明するように全国から注文が殺到するようになり、時には納期に間に合わない事もあるほどだ。

ところで、牛鬼の顔の色や絵付けには意味があるのをご存じだろうか？ 緑は「健康・安全」、赤は「無病息災」、黒は「魔除け」、白は「来福」、茶は「育てる」だ。そしてもう一つは、耳の内部に描かれる金色の絵付



ブルータス 2015 6/1号の掲載記事

※えひめの伝統的特産品 <https://www.pref.ehime.jp/h30200/syunsaikan/documents/panfu.pdf>

けで「人」と「刀」を現している。人の噂（魔）は耳から入ってくる。刀でその「魔」を祓うことができると言うものだ。



牛鬼の耳の中に描かれる人と刀

取材中「鹿頭」渡仏の話が舞い込んだ。フランス人写真家の写真集に宇和島市三浦天満の鹿踊りが紹介されていたことから、リヨンのコンフリュアンス博物館で開催される日本をテーマにした展覧会に「鹿頭」を展示したいと依頼を受けた。



写真集「YŌKAÏNOSHIMA (ヨウカイノシマ)」

「よしを工芸は今年で創業71年を迎え、私が父の跡を継いでちょうど45年を迎える。張子細工は今まで厳しい環境にあったが、今からは見直される気がする。

年数で言えば父のキャリアをとうに超えているが、作品の出来は超えたとは思っていない。今後も精進を重ねますます完成度を高め、私の後をつないでくれる後継者が現れるのを楽しみにしている。



牛鬼は別注の子ども用（150,000 円～）



祭礼用五ツ鹿（地域によって顔の色が違う）



左から、鹿面（小）2,500 円～ 鈴鹿（小）1,000 円～



和紙を手で裂き糊を付けて貼り重ねていく

プロフィール／宇和島市出身 1958 (昭和 33) 年生まれ 2001 年 朝日テレビ社長賞 / 2004 年 テレビ愛媛社長賞 / 2006 年 愛媛伝統工芸師認定
《よしを民芸店》 宇和島市中央町 1-3-3 TEL.0895-24-6812

亀三郎物語

郷土愛あふれる 山下亀三郎の人生

1867(慶応3)年、宇和郡河内村(現：宇和島市吉田町)に生まれた山下亀三郎は、我が国屈指の海運会社、山下汽船を作り上げ激動の明治、大正、昭和を生き抜いた。亀三郎が口述筆記させ、後に出版された自伝「沈みつ浮きつ」には、当時、日本を牽引した数多くの英傑とともに波乱万丈の人生が生き生きと描かれている。その中に、「私の郷土愛、郷土山河に親しむと言ふことは人一倍だと思つて居る。――中略――帰省は両親兄弟に会ふ為じゃない。郷土に会ふ為だ」と綴られていて、亀三郎の並々ならぬ郷土愛が伝わってくる。

本号では、昨年生誕150周年を迎えた山下亀三郎の生きざまに迫る。

画像 / 山下眞一郎氏所蔵 愛媛県生涯学習センター提供

取材協力 / 山下眞一郎、山下洋三郎、山下重蔵、赤松嘉進、河野哲夫、吉田高等学校同窓会、東洋建設(株) 愛媛営業所
参考書籍 / 「沈みつ浮きつ」四季社、「トランパー伊予吉田の海運偉人伝」宮本しげる著、「吉田三傑 2017」宮本しげる著
吉田高等学校創立 100 周年記念「先人の歩み」、山下亀三郎と山水、「(海運王) 山下亀三郎」青山淳平著

亀三郎物語

つなぐ 2018 夏号 4

海運王

山下亀三郎

山下亀三郎は、慶応3（1867）年4月、吉田藩河内村（現・宇和島市吉田町河内）に生まれた。

小学校は円通寺で、清家吉次郎と机を並べた。明治13（1880）年、宇和島の南予中学に入学した。しかし、勉強には身が入らず、2年生で落第し退学した。



母ケイに鯨の潮吹きを見せたいと筋（現・宇和島市吉田町筋）につくった別荘の落成祝いに集まった近隣の人々。

明治15年、家出をした亀三郎は、大阪行きの船に乗りうつと宇和島の港へ行ったが、冬の季節風が吹き荒れて出港できず、船宿に泊まっていた。

そこへ、近所の神主が訪ねてきて母の伝言を伝えた。「男子がいったん村を逃げ出して、おめおめと帰ってくるようなことがあったら、母は皆から、ろくでなしを生んだと言われ、恥ずかしくて生きておれん。大手を振って村の道を歩けるようになるまでは帰ってくるな」と。

亀三郎は、この母の言葉を胸に刻んで、一生忘れることはなかった。

京都で2年ばかり小学校の代用教員を勤めたが、明治17年父の許しを得て、学問を志して上京した。明治法律学校（現・明治大学）へ入学したが、二年目には、ついていけず退学してしまう。

職を求めて大阪、神戸あたりへも転々とするがどれも長続きはせず、明治24年に横浜でマンガン鉱を扱う貿易会社池田商店に入社し、結婚もしたが、会社が倒産してしまう。

その後、2年ばかり洋紙関係の仕事をした経験を生かして、洋紙の卸販売を一人で始めたが、すぐに資金繰りに困って夜逃げしてしまう。

明治29年、独立して横浜石炭商會を開業した。明治36年、海運業へ進出を

考えて船を購入し、喜佐方丸と命名した。その後、日露戦争が近いという情報を得るや、石炭の高騰を見越して大量に仕入れ、喜佐方丸を御用船として海軍に賃貸した。開戦後の石炭暴騰で得た利益で購入した第二喜佐方丸も御用船として海軍に提供し、日露戦争の終わる頃には150万円という大金を手に入れた。

日露戦争後は、不況と木材事業の失敗で多額の負債を抱えたが、※1 菱形銷却法という特殊な返済方法で誠実に返済交渉を行った。

大正3（1914）年の第一次世界大戦の勃発を契機に海上輸送の需要が増大したことを受けて、亀三郎は所有船をヨーロッパの船主に貸して莫大な利益を上げた。自社用に初めて建造した吉田丸は、建造費の三倍でイタリア政府に売り払った。大正6〜7年の2年間で1250万円という利益を上げた。

昭和恐慌の荒波をくぐり抜けた山下汽船は、急速に業績を回復し、昭和16年には、日本郵船、大阪商船に次ぐ海運会社に成長していた。

故郷への思いは人一倍強く、大正6年には吉田町に山下実科女学校を、大正9年には母の郷里三瓶に第二山下実科女学校を設立した。「人間をつくるには、まず母をつくれ」との信念からである。

※1）当初、小額を返し、会社の利益が増えるにつれて返済額も菱形に膨らんでいくというもの。

その他、奥南運河の改修工事、町立吉田病院の開設、町立吉田中学校の設立、喜佐方トンネル建設、喜佐方小学校の講堂新築などに惜しみなく私財を投じた。今の金額で少なくとも30億円に達すると思われる。

太平洋戦争末期、東条内閣の最高顧問を務めたが、終戦直前の昭和19年12月、沈みつつ浮きつる人生の幕を閉じた。村井保固、清家吉次郎と共に吉田三傑の一人として崇敬されている。

幕末から明治初期に生まれた青雲の志ある人々は、この世に生を享けて仕事をするのは自分のためだけでなく、社会、公共のために貢献すべきだという気概で人生を全うした。その心意気が私達の胸を打つ。『坂の上の雲』の三人しかり。その一人、秋山眞之の盟友山下亀三郎の人生も又、しかりであった。



よしのぶ
赤松 嘉進

赤松嘉進 プロフィール

昭和14年 宇和島市吉田町出身
早稲田大学政経学部卒
東京電力、富士ゼロックスに在職後
帰郷後、三原産業に勤務
愛媛県立吉田高校同窓会々長
西南四国歴史文化研究会々長
村井学園（村井幼稚園）理事長

亀三郎が遺したモノ

「母に対する感謝の意味としても、母をつくる学校を建てたい」

自伝「沈みつ浮きつ」より



亀三郎物語



100年経った今でもビクともせずその役目を果たしている（手前のコンクリート部分は後に造られた）。 撮影 / 北濱一男

亀三郎が郷里のために私財を投じた主な事業は、①筋港の防波堤、②山下実科女学校、③奥南運河の改修、④町立吉田病院の開業、⑤町立吉田中学校の設立、⑥喜佐方小学校の校庭拡張と講堂新築、⑦喜佐方トンネルの開通などで、これらの事業の完成には約30年を要し、金額は現在の貨幣価値で約30億円と推定される。この他にも、道路の改修や神社仏閣への寄付など枚挙に暇がない。

【学校】

■山下実科高等女学校

（現・県立吉田高等学校）

■第二山下実科高等女学校

（現・県立三瓶高等学校）

■法人山水育英会

私財1千万円（現在の約260億円）を投じ、財団を設立

・第一山水中学校（現・桐朋男子）

・山水高等女学校（現・桐朋女子）

・第二山水中学校（現・同志社香里）

現在は学校法人桐朋学園となり桐朋学園大学院大学、同大学、同芸術短期大学、桐朋オーケストラアカデミー、桐朋中学校、同高等学校、桐朋女子中学校、同高等学校、桐朋小学校、桐朋学園小学校、桐朋幼稚園がある。指揮者の小澤征爾は、桐朋



山下汽船神戸本社

日本銀行本店、東京駅など数多くの名建築を手がけた我が国建築界の第一人者辰野金吾の設計(昭和11年撮影)



山下実科高等女学校

「母をつくる学校を建てたい」との思いで大正6(1917)年に創立。



奥南運河

亀三郎の寄付金を加えて郡の直営事業として掘削に着工したが完成まで9年の難工事だった(撮影:北濱一男)。



喜佐方トンネル

撮影した時も買い物袋を提げて徒歩で立間方面に向う人がいて、現在も生活道路として活用されている。



筋港の防波堤

亀三郎が母のために建てた筋の別荘を波から守るために造られた。

【会社】

■山下汽船合名会社(現:商船三井)

■扶桑海上保険(現:三井住友海上)

■浦賀船渠(現:住友重機械工業)

■阪神築港(現:東洋建設)

2006、8年にかけて宇和島道路の内、宇和島市津島町高田から宇和島市祝森にかけてのトンネルを施工した(津島側総延長780メートル)。

《横浜 山下公園 寄付説について》

横浜開港資料館に問い合わせると、公園は関東大震災の復興事業として瓦礫などを使って埋め立てられたようだ。名前の由来は「山下町」との回答。残念ながら亀三郎の関わりは確認できなかった。

女子高校音楽科の第1期生(音楽科は共学)。2016年の同窓会会報によると浪人生を含め東京大学に20名の合格者を出すほどの進学校だ。

祖父亀三郎の生誕150年祭をゆかりの地で祝って



しんいちろう
山下 眞一郎

日ごろお世話になっている宇和島信用金庫さんから今夏の「情報誌つなぐ」に山下亀三郎を取上げるので亀三郎の孫の世代を代表して私からも一稿を寄せるとのご依頼を頂きました。

私どもは昨年10月、祖父亀三郎の生誕150年祭を地元吉田町の有志の方々に「おんぶ抱っこ」で執り行うことができました。

河内在住の山下重蔵（私にとって本家となる）の庭に祭った小さな金毘羅神社（航海の安全を守る神さん）を遥拝。本家が檀家である安楽寺の和尚様に汽船会社の紋入の袈裟をまとして有り難いお経をあげて頂いた後、町内に建つ亀三郎の銅像の脇にしだれ桜を植樹するという、式典と云うより楽しいお祭りにして頂いたことは、私どもにとつて、まさに「望外の喜び」となりました。

そこで、祖父の没後70有余年を経て、何故に私も孫、ひ孫、玄孫による生誕150年祭を亀三郎とのご縁があった皆様を支えて下さったのかを紐解くなかで、私なりの亀三郎像を綴ってみることにします。

私は昭和11年生まれの82歳、亀三郎の直系の孫になります。祖父は、私が9歳の時に亡くなっていますので祖父との写真は手元にありますが、残念ながら言葉交わした記憶はありません。

私が昭和34年、敗戦後辛うじて生き残った山下汽船に入社して、戦に敗れた国の海運会社の再生に難渋する時代を経て半世紀にわたる船屋生活を送るなかで亀三郎の人となりを知るのは「亀三郎を敬慕された会社の諸先輩（著作を含む）」をはじめ色々な方から伺ったり、亀三郎が残してくれた自叙伝が伝えるものになります。

この自叙伝「沈みつ浮きつ」は亀三郎晩年、当時の速記の達人に口述筆記してもらったものですが、その巻頭「自らを語る」は本人の自己紹介の定番である一節に始まっています。

「宇和島の中学校を落第し、京都に抜けて小学校の助教員を勤め、東京に出ては法律学校を中途落第退学したといううなことが学歴で、それから東京と横浜で三、四年商店奉公をしたものの、奉公人としては一向に浮かばず、明治二十七年ささやかな店を横浜で持ち、資本というては皆無で石炭買手に手を染め、それから船屋となって七十の坂を越えたのが経歴である」

こんな書き出しで語るのには、船を生業とした儲け話でも成功譚でもない。明治、大正、昭和と生きた「明治の男」の生きざま、郷里喜佐方村のこと、慈母と讀える母への思い、親不孝の懺悔、沈みつ浮きつの中でも困難と闘うべし、そして報

※1) サクセスストーリー

恩、報国、について自ら思うことを自在に述べています。

※2) この自叙伝には、亀三郎が畏敬した文豪徳富蘇峰先生が各編に朱書きで読後感を記され、墨痕鮮やか力強い筆で序文を寄せられています。曰く、

- 「君一生の結論から云えば、
- 一 公益を本位とした
- 一 事業を本位とした
- 一 自力を本位とした

以上三点が君をして今日あらしめたる所以と認む。君は世間を学校とし、艱苦を師友とし、徒手空拳今日の山下其の人の人格と事業を築きあげた。幾多の浮沈を経るも 君の男振りにはドン底に沈みたる時に最も立派であった。同じ負けでもケチ臭き負け方をしなかった。君が故郷に慈母を記念する為に女学校を設け、又、親友秋山提督の為に尽くしたる事などは君の人間味の一面を語るものである」

（原文より）

亀三郎は明治36年、石炭商売で手にした小金で何の経験なしに船を購入、郷里喜佐方の名を付けて海運に乗り出したものの大いなる苦境に陥ったところを海軍の御用船として徴用されたことで救われたと語っています。これが亀三郎の海軍さんに対する特別な思い入れで、後にバルチック艦隊を撃破した英雄、秋山真之との「真に兄弟以上の交わり（原文より）」

※2) 明治から昭和にかけての日本のジャーナリスト、思想家、歴史家、評論家。『国民新聞』を主宰し、大著『近世日本国民史』を著したことで知られる。

※3) 何かを始めようとするときに、身一つで他に頼むものがないこと。

に繋がって行くことになったと思います。亀三郎は明治39年喜佐方丸に乗り郷里吉田の港に回航させて帰省したときのことを「自分の肚のなかでは母にこの船を見せたい。これは亀の船だと言つて船室に迎えたい。が思い付きであったが、果たして母の心になつて母は数時間たつても動こうとしない、『今晚この船に泊めてくれることは出来ないか』と言いつたことに対しては実に涙を催した」と書いています。

亀三郎が16歳で郷里を逃げて出る時母は「男子たるもの一旦村を出るからには大手を振って帰れるまでは、おめおめ村に帰ってくるな」と船宿に隠れていた亀三郎に伝えましたが、この母のために喜佐方丸を吉田に着けることをもって、晴れて「大手を振って村に帰る男子の本懐を果たした」ことになりましたが、これを読むと孫の私も胸が熱くなります。

私も二年ほど前まで船を持てました。船を吉田に回航して亀三郎の真似事が出来たらと夢想したこともありましたが、現在の外航船は喜佐方丸の2〜30倍の大きさで、残念ながら吉田に着けることは物理的に出来そうもないのが現実です。明治、大正から昭和の初期にかけて、坂の上の雲を目差した国運隆盛の時代に事業を起こし、徒手空拳で築きあげた亀三郎の大船団は、第二次大戦中すべて海



吉田湾に投錨した喜佐方丸の甲板にあふれる喜佐方の人々

の藻屑となりました。日本の制海権が消滅したあとも山下の船は戦時物資ばかりか兵隊さんも運んでいたらしく、敵潜水艦の格好の餌食となったのでしょう。

祖父は、昭和19年12月に亡くなっていますから 自分の船が海員と共に沈み行くことを当然知っていたと思います。が、神国日本を信じ報国を旨としていた本人の口からは一言なりとも沈みゆく船の話は出ず、最晩年には内閣顧問となつて戦に協力、これが病んでいた肺を悪化させて死を早めたと言われています。

亀三郎が郷里に二つの山下実科高等女学校を創設したことは「沈みつ浮きつ」母を作る女学校」に記されていますが、この二十数年後の昭和十五年になって、当時の「会社の事業資金にすれば新造船10隻ほど造れる金員」を陸海軍に献納して「財団法人山水育英会」の創設に尽くしています。

山水育英会設立趣意書には「亀三郎の寄付の趣意を尊重して子女寄託の施設を完備して一般教育事業に貢献し、これをもつて軍人軍属をして後顧の憂いなく軍務に専心せしめんとす」とあります。

亀三郎はこのことを「支那事変の勃発して暫くした頃、出征軍人軍属の方々が、その子弟の教育に不安を感じておられることを耳にして自分としてこの問題の解決に寄与する途はないかと考え、陸海軍に己の意図を申し出た」と語っています。

時移り、終戦後、山水学園はGHQに睨まれ一時はその存続は危殆に瀕したと仄聞していますが、その名を「桐朋学園」と改名して不死鳥のごとくよみがえり名門校の名を成して現在に至っていること

※5) 非常にあぶない状態になる。

※4) あとあとの心配。

はご承知のとおりです。

桐朋学園10周年記念祝典に父、山下太郎が招かれ祝辞でこう述べています。「昭和15年当時の私は、父が船を何艘も造れるほどのお金を陸海軍に献納することに反対して、思い止まるように願ったが父の意志は固かった。しかし、今の席において思い至れば父が述べた『船はいつかは沈む。しかし、人を育て心を育てる教育は永遠である』は真理であつて、父が築いた郵船商船に迫る大船団は負け戦になつて海の藻屑となつたが、父が郷里に建てた二つの高等女学校は健在しているし、山水学園は今日の桐朋学園となつて益々発展を遂げて行かれることになる」

今回の生誕150年祭には、桐朋学園理事長、事務局長が遠路東京から参られて、式典の翌日には我々一族郎党とともに、吉田、三瓶両高校で校長先生と親交を深められたことを付言して拙文を終えます。

山下眞一郎 プロフィール

昭和11(1936)年 兵庫県生まれ

山下亀三郎の直系の孫

昭和34年 山下汽船 入社

国の海運集約策により 山下新日本→ナビックスライン

→株式会社商船三井となり同社代表取締役副社長を退任後

株式会社山下事務所を設立 船主業を営む

息子2人 孫3人 孫の一人が海運会社に就職

実現したい二つの夢

近年、山下亀三郎（以下…亀三郎）に関する取材が増えた。それは、数年前の70回忌、2年前のALL桐朋同窓会（亀三郎がつくった山水中学校・同高等女学校（現…桐朋男子、桐朋女子）の75周年を記念した同窓会、昨年行われた亀三郎生誕150年祭と吉田高等学校創立100周年記念式典など）も大いに影響していると思うが、私は時代が「明治」を求めているように感じる。

私には二つの夢がある。一つは、長年高校野球の審判をやっていたこともあり、ご縁を頂いた桐朋学園で審判をする機会があれば、ぜひやらせて頂きたい。もう一つは、同校の建物を亀三郎がつくった阪神築港（現…東洋建設）に建ててほしいというものだ。いずれも実現すれば、これ以上の喜びはない。

吉田には、現在も山下亀三郎を偲ぶ会（会長…清家磯晶、山下公園ボランティアの会（代表…清家右義）の方々が熱心に活動して頂いている。これはひとえに、亀三郎が吉田高校や吉田病院、喜佐方トンネルなど、故郷に惜しまず支援の手を伸ばしたからこそだと思う。わが家には家訓がある。激動の時代を生きぬいた亀三郎が遺した「奢るな

よ月のまるきも只一夜」という俳句だ。この句は、日露戦争の反動で無一文同然になった亀三郎が、金策で訪れた大倉喜八郎の邸宅で大倉翁の言葉に感銘し詠んだ句だ。

この精神をぜひ次の世代に引き継いでいってほしい。

※亀三郎は山下家9代当主の弟にあたる。

※明治新政府の御用商人として活躍し渋沢栄一と東京商法会議所を設けた。大倉財閥の創設者。



写真左：亀三郎直筆の「奢るなよ月のまるきも只一夜」の掛け軸。句の下には大きなお腹をした福々しい人物が描かれている。写真右：亀三郎家族が喜佐方の実家に里帰りした時の写真。



吉田 山下家 12 代当主
山下 重蔵
じゅうぞう

● 明治 150 年記念 平成 30 年度宇和島市立伊達博物館特別展

明治、宇和島スピリッツ！～宇和島が生んだ HERO ～

今年は、明治元(1868)年から起算して満150年を迎えます。これを記念して明治期を中心に活躍した宇和島の偉人にスポットを当てた特別展です。

- ・開館時間 / 9:00 ～ 17:00 (入館は 16:30 まで)
- ・休 館 日 / 月曜日 (7/16、7/23、8/13 は開館。7/17 は休館)
- ・入 館 料 / 一般 500 円、高校生以下無料、他各種割引あり

住 所 / 宇和島市御殿町 9-14

お問合せ / 0895-22-7776 URL : <http://www.city.uwajima.ehime.jp/site/datehaku-top/>



第一吉田丸



亀三郎を支えた友

同郷の親友 秋山 眞之 あきやま さねゆき

司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」の主人公にして、日露戦争における日本海海戦で打電した「本日本気晴朗なれども波高し」でも知られる秋山眞之（以下・眞之）だが、山下亀三郎（以下・亀三郎）の従妹の長男にあたる古谷久綱が内閣総理大臣秘書官（総理大臣は伊藤博文）の時、当時海軍大尉だった眞之を紹介したのが親交の始まりだ。

亀三郎は自伝「沈みつ浮きつ」（以下・自伝）の中で「彼の最後まで眞に兄弟以上の交わりをしていた」と記している。眞之は、虫垂炎を患って亀三郎の別邸「對潮閣」で療養をしていたが悪化、そのままだけなってしまう。眞之最後の様子を自伝で「その最後に至り、大声を發して我が国の将来を語り『我死して我國をどうする』と言ったことが今にも耳に響いている（中略）そうして、その後で又目を開いて『山下、何も頼むことはないが、子どものことをね』と言ったから、『そんなことは安心しとれ』と言ったのが最後だった。今



は、その形見の兄の方は山下汽船会社、弟の方は浦賀船渠会社に働いている」と記している。

こうした二人の親交は現在も受け継がれていて、今年3月に行われた「秋山眞之生誕150年祭」にも、亀三郎の孫の山下眞一郎氏、洋二郎氏、英郎氏ほか東京山下家の方々、それに桐朋学園同窓会副会長の曾根眞人氏、青山淳平氏、宮本しげる氏、吉田山下家当主の山下重蔵氏、「山下亀三郎翁を偲ぶ会」、「山下公園ボランティアの会」の各会員の皆さんなど多くの亀三郎関係者が集まった。



秋山兄弟生誕地で行われた眞之生誕150年祭参加されたみなさん

竹馬の友 清家 吉次郎 せいけ きちじろう

吉田町から数多くの偉人が排出されているが中でも「吉田三傑」として今も吉田の人々から慕われているのが山下亀三郎、村井保固（以下・保固）、清家吉次郎（以下・吉次郎）だ。その三傑のひとり、吉次郎は、亀三郎より1歳年上で吉次郎の母の乳で育てられた亀三郎とは乳兄弟に当たる。幼いころからの遊び仲間であるに村の小学校に通った。

やがて吉次郎は小学校教員を経て政治の世界へ転身する。県議会議員に当選した後、県議会の議席を保持したまま吉田町長に就任した。

町長になった吉次郎は、まず吉田病院と吉田中学校の設立に尽力した。そのほかにも、吉田港の整備や新田開発、養蚕や柑橘栽培の奨励など数多くの事業を手がけた。

その後、国政にも進出し、昭和5年（1930）年衆議院議員に当選した。

亀三郎の自伝の中の「母を作る学校」の項には「（前文略）母を作る学校を建ててみたいと思って私が五十



を迎えた時に、教育畑で育った私の眞の竹馬の友、清家吉次郎君に諮って、吉田の方には宮本佳馬、三瓶の方には、母の生家の当主菊池武虎と相談して長井音二郎という極めて精神的に極めて人間本位な理想の校長を得て両校を設立したのである（以下略）」と記している。

吉次郎が進めた様々な開発を、亀三郎と保固がバックアップし、亀三郎が進めた学校建設は、吉次郎と保固が側面から支えていった。



吉次郎や亀三郎、村井が尽力し出来上がった当時の吉田病院

ガイヤカーニバル

30
周年

ガイヤ誕生秘話

私が宇和島青年会議所（以下、J
C）の理事長をしていた32年前、
毎年うわじま牛鬼まつり（以下、祭
り）で須賀川の太鼓橋に特設のス
テージを組んで水上ショーを開催
していました。その年は、当時人
気を博していた宇崎竜童さん率い
る「竜童組」を呼んで大いに盛り上
がったのを今でも覚えています。

以前から「祭りにもっとビート
の効いた新しい踊りをつくってほ
しい」との声が多く聞かれていま
したので、当時全国の祭りの楽曲
を数多く手掛けていて、祭りにも
来て頂いた宇崎竜童さんに依頼し
ようということになりました。

そこでまず、宇崎竜童さんの魅
力を広く市民に知ってもらおうと
JC有志が興行主となって南予文
化会館で赤字覚悟の「宇崎竜童シ
ョー」を開催しました。

ショーは成功し、そうして生ま
れたのが、「GAIYA ON THE ROAD
（ガイヤ・オン・ザ・ロード）」です。
振り付けは、ピンクレディーの
振り付けで有名な津島出身の土居
甫（はらみ）さんにお願いました。

製作費は楽曲に300万円、振
り付けに100万円でしたが、土
居さんは「故郷に貢献できるのな
ら」と全額を寄付して頂きました。
今では懐かしい隠れたエピソード
です。



福島 朗伯 ふくしま あきのり

宇和島市議会議員
宇和島青年会議所第32代理事長

竜童組のサイン入りTシャツとバチ
(福島 朗伯 / 蔵)



すばらしい楽曲と振り付けが完
成し、次に大変なのが運営です。

まず、全国から祭のビデオを取り
寄せて研究し、中で一番よかった
のが高知の「よさこい祭り」でした。
特設された、通りの横敷から踊り
手のパフォーマンスを間近で観る
その風景は、熱気に溢れていて皆
で、「よし、10年後こんな風にし
ようや!」と意気込みました。

まず、メガネの三城からフジ宇
和島店（旧ロータリー）に至る国道
の全面通行止めの交渉をしますが、
許可が出ず、やむなく駅前通りと
アーケード街を利用して開催する
ことになりました。

当初は踊りを統一していたので、
振り付けを宇和島バレエ研究所の
田中幸（みゆき）さんを中心におおみやげ子（おみやげこ）さん
たちの協力を得て踊りの指導に奔
走して頂きました。

祭り当日のオープニングセレモ
ニーへの宇崎竜童さんの出席は叶
いませんでした。竜童さんの音
声メッセージを合図に第1回ガイ
ヤカーニバルがスタートし、通り
に「ガイヤ・オン・ザ・ロード」の
ビートが高らかに鳴り響きました。

30年続いたことは、当時の責
任者の一人として感慨深く、私た
ちが目標にした「よさこい祭り」の
ような素晴らしいイベントになる
事を期待しています。



清家 幹広 せいけ もとひろ

株式会社かどや 代表取締役社長
宇和島青年会議所 1988年祭り実行委員長

かくれた逸品

あげ巻



南予地方を代表する「かまぼこ」
 言えば、やはり「じゃこ天」です
 よね。特に揚げたての「じゃこ天」
 は、初めて食べる人でもファンに
 してしまう美味しさがあります。
 おかげさまで、多くのお客様に支
 えられて、一年を通して買い上
 げただいております。そして、
 「じゃこ天」の次に人気のかまぼこ
 が、今回ご紹介する『あげ巻』です。
 この『あげ巻』、どうも南予地方
 でしか造られていない、かまぼこ
 のようです。

『当たり前にあるものだと思う
 てたら、この地方独特のものだっ
 た』っていう類のもののように、
 その起源も正確にお伝えする事が
 出来ないのですが、調べる限り他
 の地域にはないものようです。

豆腐のうすあげに付け包丁で、
 すり身をのびし、手作業で1本1
 本、渦巻状に巻き上げ、蒸し上げ
 ます。板付のかまぼこは機械で大
 量生産できるのですが、『あげ巻』
 は今でも手作業ひと筋。ひとつひ
 とつ、職人が丁寧な巻き上げて作
 るため、大変な手間が掛かります。

宇和島の練り製品は、魚自身が
 持つ本来の旨みを生かしてつくり
 上げています。「じゃこ天」は『ハ

ランボ（ホタルじゃこ）』、「板付け
 かまぼこ」や「あげ巻」には『エソ』
 が主に使われていますが、『エソ』
 のすり身がうすあげと出会う事で
 さらに美味しさが増しています。

『あげ巻』は、赤や青の色付きの
 かまぼこを渦巻状に巻き上げた「
 錦巻」とともに、特におせち料理
 には欠かせない食材となっております。

「じゃこ天」とのセットは贈答品
 としての注文もたくさんいただい
 ております。カルシウムやDHA
 など多く含まれており、魚はな
 れが心配されている子どもたちにも
 好んで食べてもらえると思いま
 す。

『あげ巻』を「じゃこ天」に次ぐ
 南予地方のかまぼことして、全国
 に広めていけたらと思います。



折原 健一
 井上蒲鉾本舗 社長



井上蒲鉾本舗

〒798-0062 宇和島市桜町 1-47 TEL : 0895-23-2266 FAX : 0895-25-7769
 〈ホームページ〉 <http://www.e-jyakoten.co.jp/>



町の玄関口にあった内港の船着き場 昭和 34 (1959) 年頃

被災都市宇和島は敗戦から4年経った昭和24(1949)年、復興都市計画に着手して新しい町づくりを開始した。計画の根幹は、町の中央部(浜通り)まで海が入り込んでいた内港を埋め立て、市街地を広げることだった。これにより、まず片側町であった浜通りは両側町となり新橋商店街が誕生する。現在地という、それまでスーパ―・しんばし側の通りのみで、ヒラカワ化粧品側は船着き場で海に面していた。今の新橋商店街から国道56号に出る付近(新町1丁目)、南予文化会館裏駐車場から伊予銀行宇和島支店辺りまでが埋め立て計画の対象だった。昭和25(1950)年生まれの子が知っている内港の浜通りは、国道沿いの丸之内5丁目から栄町港2丁目にあった盛運社棧橋辺り。写真は当時の丸之内5丁目付近で、内港の一部としてまだ残っていた。町に一番近いポンポン船の船着き場で、海から上陸用の石段と、船を繋ぎとめる「舫い石」が並んでいた。そこに繋留する船には、中国や東南アジアのいくつかの国の水上生活者と同じ、明らかにそこで生活していると思われる人たちがいた。洗濯物を干していたり、七輪の火を起したりしていた。

※1) (宇和島劇) 邦・洋画の再上映館で、夏には「和霊大祭特別興業」「お化け映画大会」のコピー、大人の入場料 55 円や 70 円の新聞チラシが記憶に残る。昭和 47 (1972) 年 7 月閉館。



【現在の様子】交差点の右が宇和島信用金庫新橋支店 駐車場

市内には映画館が最盛期10館もあった。また、映画各社のロケ隊もたびたびやってくるほど、港とともに映画文化が栄えた町だった。宇和島信用金庫 新橋支店の駐車場付近がこの写真の現在地である。写真の左手前側、富士火災宇和島ビルが立つ右横並びに、山崎のイリコ屋、木村の網屋、三原の貸し船屋、上田のトコ箱屋など、60代以上の人なら郷愁を覚えるであろう店がなくなり、残っていた港には漁船や機帆船、小型貨物船が出入りし賑わっていた。写真には、2本の大きな土管や大量の廃棄物などが岸辺に積み上げられているので、この付近の埋立てが始まった頃だろうか。昭和34(1959)年頃から丸之内5丁目付近一帯の埋立てが始まり、35(1960)年には完成した。以降、漁網店、回漕店などが立ち並び、渡し船が往来する港町風情は消え、和霊神社の夏祭りに大漁旗はためかせた漁船が内港を埋めつくすこともなくなった。

※2) 魚を捕獲するために用いる漁網を扱う店。漁網店。

※3) 海産物を入れる箱のこと。水産業者などが海産物を出荷する際に用いた。



田部 司 たなべ つかさ

プロフィール 昭和 25 (1950) 年生まれ。宇和島市在住。日本眼鏡技術者協会会員。
 タナベ昭和館主宰 (ブログ公開中 <http://www.uwajima.com/tanabe/syowa/syowa.html>)。
 共著に「目で見ると 宇和島・北宇和・南宇和の100年」(郷土出版社 2003 年)
 「保存版 宇和島・北宇和・南宇和の今昔」(同 2010 年) など。

写真・文 / 田部 司



1 番人気の「よつば食パン」 1 本 580 円（税込）
湯だねを使ってもちもち♥牛乳をたっぷり入れてほんのり甘くやわらかい食感で耳までおいしく食べて頂けます。



天然酵母を使った。ルバンバケット 1 本 180 円（税込）

住 所 / 宇和島市朝日町 1-3-20 TEL.0895-28-6228

営業時間 / 7:00 ~ 13:00 (10 月 ~ 8:00 オープン)
16:00 ~ 18:30

定 休 日 / 月曜日 (その他不定休あり)

駐 車 場 / あり



1日に2回オープン♥

夕方のお客様にも、たくさん
の種類の焼きたてパンの中から
選んでいただけるように「1日
に2回オープン！」午前中焼い
たパンは、ほとんどの種類を1
6時から焼き上げます。

お子様からご年配の方まで♥

数種類ある小ぶりのパンは、
お子様のおやつや軽食にご利用
頂いています。

また、ご年配の方に人気の菓
子パンはより柔らかく仕上げて
おり、好評を頂いています。

当店では、山型食パンを一斤
140円という価格にすること
で、今までパン屋に足を運ばれ
なかったお客様にお気軽にご来
店いただけるようにと頑張っ
ています。

みなさまのお越しをお待ちし
ています。



オーナー
石田 裕二さん

熱中症

暑い季節になってきました。この時期に注意しなければならないのは熱中症です。熱中症とは暑熱環境による身体適応の障害です。人は熱に順応する能力があります。徐々に気温が上がっても1週間ほどで汗の量が多くなり順応していきま

す。しかし、急に気温や湿度が上がる梅雨明けなどではまだ十分に順応しておらず、熱中症になりやすくなります。熱中症は運動場などの日差しが強い屋外だけではなく、体育館、浴室やトイレ、駐車中の車などの風通しの悪い室内でも起こります。

軽度の熱中症の症状は立ちくらみ、大量の発汗、こむら返りなどです。これらの症状は仕事や運動の直後だけでなく、数時間経った後に起こることもあります。これらの症状が認められたら、直ちに風通しの良い日陰や、クーラーが効いている室内などの涼しい環境に移動させて下さい。衣類を脱がせて、氷や水を使って体を冷やしたり、うちわや扇風機などで扇いで下さい。そして経口補水液などで十分に水分と塩分の補給が必要です。軽症の場合でも急速に悪化する場合もあるため、決して目を離さず誰か付き添って下さい。

強い倦怠感、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢、集中力の低下があれば、中等度の熱中症です。軽症の場合は、現場での対応で対処可能ですが、中等度以上あるいは軽症でも改善しない場合には、医療機関での治療が必要です。

重症の場合には深部体温が上昇し、けいれん、意識障害、異常行動などが認められます。体は高熱となりますが、これは感染症での免疫系の活性化による「発熱」ではなく、熱が体内にこもって放散できないことによる「うつ熱」です。高熱は肝臓機能障害、腎臓機能障害、血液凝固障害を引き起こし、最悪の場合死に至ります。熱中症が疑われ、自力で水分が飲めない、意識がない、または呼びかけに対する返事がおかしい場合は、ため

らわずに救急車を呼んで下さい。子どもは、体温調節機能が不十分なので熱中症になりやすいため、保護者の方は十分に注意して下さい。また、高齢者は暑さやのどの渇きを感じにくく、体温調節の機能が低下しているため、症状の訴えが乏しいのかかわらず、熱中症になることがあります。「食欲の低下」や、「元気がない」などの変化に注意して下さい。平成28年には、全国で621名の方が熱中症で亡くなっており、その約80%が高齢者です。

予防のためには、気温の高い環境での長時間作業は避け、体調の悪い時には無理をしないで下さい。のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。

熱中症の予防を心がけ、症状が強いときは直ちに医療機関で治療を受けて下さい。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆



偉大なる野菜の力！

前号では、5大栄養素を摂取することが大事であることをお話ししました。5大栄養素とは次に示すもので、左に多く含まれる食品を記載しています。

① 炭水化物	主食になるご飯、パン、麺類など
② たんぱく質	メインのおかずになる肉、魚、卵、大豆製品など
③ 脂 質	揚げ物や炒め物に使用する植物油やバターなど
④ ビタミン	副菜にする野菜やデザートにする果物など
⑤ ミネラル (鉄・カルシウム・亜鉛など)	鉄分はレバーや貝類、カルシウムは乳製品、小魚、緑黄色野菜、亜鉛は牡蠣や肉類など

いつも頭の片隅に置いてください。

1日3食のうちで5大栄養素をそろえればいいでしょう。おやつや間食も含めます。毎日の生活には変化があります。友人との交流やお付き合いなどで食べ過ぎることもありますね。でも、日ごろの食生活が充分できていれば、たまの暴飲暴食で健康が害されることはありません。

ここでも、毎日こつこつがキーワードになります。

国民健康・栄養調査では、野菜の摂取量が不足しています。野菜にはビタミン、ミネラル、そして、第6の栄養素と言われる食物繊維が多く含まれます。

因みに私は野菜が大好きです。献立を考えるときには、まずは何の野菜を使用するかを決めて②のたんぱく質を決めます。例えば、チンゲン菜を使用すると決めたら、冷蔵庫にあるたんぱく質食品を思い出し、「豚肉と炒めよう」と考えます。チンゲン菜は早く使わないとすぐ黄色く変色してしまい、ビタミンも損なわれてしまいます。野菜が高値の昨今ですから、チンゲン菜のような緑黄色野菜は貴重ですね。緑黄色野菜は読んで字のごとく、緑や黄色の色が濃い野菜を指します。抗酸化物質や鉄、カルシウムが多く、悪玉コレステロールの生産抑制や骨粗しょう症の予防などにも効果的ですから毎日食べたい食品です。しかし、比較的値段も高く、生では食べられないものが多いので調理に手間がかかり、敬遠されがちです。そんななかでも、豆苗（トウモロコシ）は物価の優等生です。安価な緑黄色野菜

ですからお値打ちです。学生は食費にお金をかけないようです。魚肉ソーセージと豆苗の油いためを紹介したところ、好評でした。野菜は一食に2、3品以上使用したいものです。季節の野菜を使用して、加熱したり、生で食べたり、酢の物にしたりと変化を付けたら飽きませんね。

野菜が嫌いな人もありますね。病院勤務時代にお会いした糖尿病患者のAさんは野菜嫌いでした。ベッドサイドに伺ったとき「栄養士さん、僕は嫌いなもので食べて治療する気はないけん、帰ってや」と、栄養指導を拒否されました。2回目も「栄養士さん、何回きても無駄で、食事療法なんかする気はないで」でした。3回目はちよつとだけ話を聞いてくださった記憶があります。何ヶ月かして、病院の廊下でAさんから声をかけられました。「栄養士さん、入院中は何回も部屋に来てくれたのにろくに話も聞かずに悪かったなあ、栄養士さんの言うとおりにやったい。今は野菜も食べよるんよ。調子もええし、体重も減ったし、HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー…糖尿病の検査値の一つ）も下がったけん先生にもほめてもらったで、今日は外来の受診日よ…」

そういいながら笑顔でした。

「好きなものを食べて、死ねたら本望」

「嫌いなものまで食べて長生きしとない」

そんな、ことばをよく聞きます。しかし、現代は早々簡単には死ねません。医療が発達していますし、誰も殺してはくれませんよ（笑）。治療しないと合併症を引き起こし、目が見えなくなったり、人工透析を導入したり、足を切り落として車椅子生活になったりします。

私の教えている学生のレポートに「なぜ、嫌いなものまで食べないといけないのかと思ってたが、講義を聴いてその意味が解った」とありました。一人でも栄養の知識を身につけた社会人が育っていくことを嬉しく感じました。



広島修道大学
健康科学部 健康栄養学科
教授 藤井 文子
宇和島市出身
きものを楽しむ会々長



お気楽 俳句

宇和島市と愛南町を校線で分ける由良半島は、現在は愛南町側に小学校が一つあるだけです。学校の名は家串小学校。そこに七年間勤務しました。子どもたちは年間通して俳句に親しんでいます。

子どもたちのつぶやきは、季語の力を借りるとそのまま俳句になります。これが「季語」+「季語」とは関係のない十二音「取合せの俳句」の作り方です。

ひまわりさんわたしはちよつとなぎました

(1 年女子) 一年生のつぶやきからできた俳句です。授業中に泣いたという十二音と、青空の下で大らかに咲いている「ひまわり」を合わせました。かわいいつぶやきが季語の力を借りて俳句になりました。

天高し知らない国の旗へ風

(3 年男子) 運動会前の運動場に万国旗が張られました。その様子を十二音でつぶやき、「天高し」の季語と合わせました。秋の空の高さや青さ、そこで揺れている万国旗、世界は広いと感じた思いまで読み取ることができます。

犬が役場へ行くよいわし雲

(3 年男子) 役場に連れて行かれる野良犬を見ていた男の子のつぶやきです。季語は「いわし雲」です。一匹の野良犬と空一面の「いわし雲」の対比、そしてその場にぽつんと取り残された作者の様子まで見えます。

出会った「季語」への感動をそのまま表現するとき「一物仕立て」で詠みます。見たこと、聞いたこと、触った感覚、匂いなどの感覚を研ぎ澄ませて俳句を作ります。

おとうとはゆうやけにてがとどかない

(1 年男子) 「空いっばいの夕焼けを見ました。ぼくは、夕焼けをさわってみました。あたたかかったです。でも、弟は小さいので、夕焼けに手が届きませんこれをそのまま五・五・七の形に整えると、俳句になりました。

アマリスの中に海の音がある

(3 年女子) 「アマリスは、ラッパのような形です。耳を近づけてみました。海の音が聞こえたような気がしました。」この感動を五・七・五の形にこたわらず、十七音の詩のように表現しました。

スズメバチ死んだ足を折りたたんで

(3 年男子) 教室に入ってきたスズメバチを、教頭先生がバズーカ型の殺虫剤で退治しました。じっくり観察しました。恐ろしいスズメバチは、長い足を折りたたんで小さくなって死んでいます。生と死を目の当たりにした瞬間の俳句です。

子どもたちの素敵な俳句に出会って、うれしくなります。きっと、今年度もたくさんの俳句が生まれていくことでしょう。

(文：宮下嘉納子)



絵：律川エレキ

1966 年宇和島市生まれ
2000 年頃より俳句新聞
や俳句マガジン等に挿
絵を描く。

映像作家 奈良市在住

おすすめの本

写真集『宇和島』

森山大道 著 町田覚 + 浅田農 造本

スイッチ・パブリッシング 刊 ￥2,160 (税込)

2004 年に写真家・森山大道さんが美術家・大竹伸朗さん(宇和島在住)と一緒に宇和島を歩き撮影された写真が一冊の本になりました。ちょうど駅前再開発の工事が進む中、目の前の風景が変わっていく様を目撃しながら、この本を手に入れました。私にとっては生活の一部や日常であったものが別の光と色に写りこんでいました。ありのままが写る、写真では見えない「宇和島」が描かれています。巻末の大竹さんのエッセイも見逃せませんよ。

協力：岩崎書店 宇和島市錦町 4-16 TEL. 0895-22-0528



つなぐ美術館

作品名：先生（墨汁）
作 者：黒田陽萌
（子供クラス・小2）

楽しさ、勢い、ためらい、丸ごと生きた線。ベン・シャーン（アメリカの画家）だって羨みそう。黒一色、あばれる髪の毛、顔の輪郭線。子供はすごいなあ！



作品名：ダリア（油彩）
作 者：中川智仁
（大人クラス）

架空ではなく、モチーフを見て捉え描く。正面、後、上から、そして内なる目。人の目の束縛なんて彼にはない。キャンパスの上、ひとり躍動し異彩を放つ。



■アトリエ堀端絵画教室（べにばら画廊） 宇和島市本町追手 2-8-6 TEL.0895-22-1104 <https://benibara.webhop.info/> コメント：吉田淳治



作品名：初めてのトーシューズ
作 者：三浦八重子

お孫さんの初めてのトーシューズを履く姿を50号のキャンバスに描いた油絵の作品。作者のとても愛情溢れる作品の一つ。トーシューズのサテンの光や手の表現に注目していただきたい。



作品名：ハイビスカス
作 者：廣瀬美香

ハイビスカスの赤の美しさと黒のシャープな背景がセンスの良さを感じさせる。大胆な構図の中に無駄のない洗練された表現が素晴らしい。



作品名：bouquet
作 者：北岡遼志

花いっぱいのブーケを感性のままに絵の具をのせ表現する。作者はいつもどんな作品になるのか自分自身が楽しんで描いている。見ている皆が彼の作品を楽しみにしている。次はどんな作品を描いてくれるのだろう！

■アトリエぱれっと 宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-7784-4703 www.art-palette.com コメント：清家 由佳

ライブ情報

ギターパンダ

こ～んなに可愛いパンダさん
こ～んなに可愛いパンダさん
の中身、正体は…山川のりを
さんでした！抜群のギターと
ボーカルをお楽しみください！！



8月1日（水）

19:00 オープン 20:00 スタート

チケット / 前売り 2,500 円 当 日 3,000 円

■R69K JACK 宇和島市中央町 2-4-8 TEL.0895-28-6069

撮り歩きなんよ

アマチュアカメラマン北濱一男が撮りためた南予の風景



「標高 1 4 0 0 mの大野ヶ原のカルスト」

西予市は海拔 0 mから標高 1 4 0 0 mまでの豊かな自然が満喫できます。その中の大野ヶ原は四国でも有数の放牧地で、春から秋にかけて草原では牛が草を食み穏やかでゆっくりと時間が流れます。石灰岩のカルスト台地は日本三大カルストのひとつに数えられ四国西予ジオパークに認定されています。石灰岩が雨水などに浸食されて自然にできた※ドリーネや、高山ならではの珍しい花が咲き多くの人が訪れます。

※石灰岩地域に存在するすり鉢状の溶食凹地。

「6月下旬～7月上旬にササユリが咲きます」

写真・文 / 北濱 一男



北濱 一男 アマチュアカメラマン

1945 年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめるが、本格的な写真歴は約 20 年。現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。撮り歩きなんよ（ブログ）<http://uwatu.blog135.fc2.com/>